

2023年1月29日、令和4年度神戸西支部新人発表会で6名の理学療法士が症例発表を行いました。また、松原副主任が座長を行いました。開催方法は昨年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大を鑑みて、オンラインでの発表となりました。

新人理学療法士たちは、今までスーパーバイザーやメンターとともに試行錯誤しながら抄録や発表用スライドを作成し、院内や研究教育センターで何度も発表練習を行いました。そのかいあって、当日は緊張しながらも堂々と発表し、質問に対してしっかりと答えていました。新人理学療法士たちは、「緊張したが、良い経験になった。」「今回学んだことを日々の臨床に生かす。」「発表することで自分の課題に気づけた。」など、それぞれが成長を実感し、さらなる高みを目指して日々精進することを決意していました。

座長を務めた松原副主任からは、「初めての座長は緊張したが、西支部の新人たちの頑張っている姿を見て、緊張しなくなっただけでなく、初心を思い出すことができた。これからも学ぶ姿勢を忘れずに精進していく。」と感想がありました。

今後もリハビリテーション科は、後身の育成に励み、患者様に提供するリハビリテーションの質を向上するよう取り組んでまいります。

(文責 浪越翔太)

【発表風景（新人理学療法士と指導者）】



【松原副主任の座長風景】



【学会終了後の総括風景】



【発表を終えた新人理学療法士】

